

人権ってなんだろう？



人権とは・・・人間らしく生きる権利です。



「人権」という言葉を聞くと、「なんとなく^{かたくなる}堅苦しく難しいもの」、「自分には関係がないもの」と感じていませんか。

「人権」は、決して難しいものではありません。私たちはだれもが人間らしく生きたい、幸せになりたいと願っています。

この幸せに人間らしく生きる権利を「人権」ということができます。

「人権」はみんなが生まれながらにして持っている権利で、みんなにとって身近で大切なものです。日本国憲法でも、人権は永久の権利として守られるべきものとされています。

～ 日本国憲法 (抜粋) ～

第11条(基本的人権の享有)

国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、^{おか}侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。

第14条(法の下での平等)

すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は^{また}門地により、政治的、^{また}経済的又は社会的関係において、差別されない。

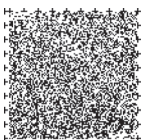
一人ひとりがかかけがえのない大切な存在

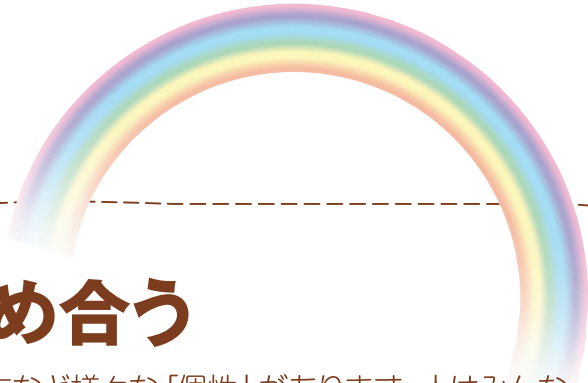
私たちはしばしば、自分を他の人と比べて、「優れている」「劣っている」という見方をしてしまうことがあります。

しかし、まずは自分と向き合い、自分という存在自体にかかけがえのない価値があると自分を受け入れることが何よりも大切です。

自分自身をかかけがえのない存在として認め、自分を大切に思う気持ちのことを「自尊感情」といいます。自分を価値あるものとして受け入れ、自分を好きになることができる人は、他の人のことも大切にできると言われています。

完全な人間はいません。どうでもいい人間もいません。欠点や短所も^{ふく}含めて、ありのままの自分を受け入れ、まずは自分らしさを好きになることです。





お互いの違いを認め合う

人には、それぞれ性別、年齢、国籍、考え方など様々な「個性」があります。人はみんな、「違い」＝「個性」があるからこそ尊いのです。

また、「性別」「国籍」などの属性だけで人を見てしまうと、異質なものとして、間違っただけの思い込みや一方的な決めつけを生むおそれがあります。まずは同じ人間ということで見えていくことです。その上で、一人ひとりがお互いの違いを認め、他の人の人権を守ることが、ひいては、自分の人権を守ることにつながるのです。人は一人で生きているわけではありません。だからこそ、日ごろからお互いの「違い」を認め合い、他の人を思いやり支え合うことが大切です。

人権は絶対無制限ではありません

人権はみんなに保障されていますが、無制限に権利を主張することが許されるものではありません。個人の人権の主張には同時に他の人の人権を守る責任が伴います。

お互いの人権に配慮して生活することで、すべての人の人権が尊重される社会が実現するのです。

大切なことは？

私たちの日常生活の場面では、家庭・地域、職場・学校などがあり、それぞれの場面に応じた判断の基準があります。

その基準の中で、最優先される基本のルールとして、だれもが人権の考え方を尊重するようになれば、人権が私たちの暮らしの中に当たりまえのように定着し、豊かで暮らしやすい社会になっていくと思います。

点字ブロックのある歩道、優先座席のある交通機関、ICカードの運転免許証は本籍欄が空欄になるなど、まずは普段の生活を人権の視点から見てみませんか。

●日常生活の中で人権が尊重されていると感じているか

